夕刊
いわき民報
発行所
平市田町48
いわき民報社
編集部 電 381
営業部 電1222

古い信用と最新のモード
CHOYA
蝶矢印の
ワイシャツ
中野洋品店
平二一・電五三

市政會基本線で進む
四月一日結成式擧行

平市政同志会は昨報の如く革新会と折衝のため、結成式を延期していたが、二十三日午後二時からブラジルで両者決裂後の拾収策について協議の結果、発起人であつた

吉田常太郎、水竹伊之助、大泉信雄、渡辺賢司、荒川千代造、坂本昌蔵、阿部長兵衛、会川利一
多田井笑次郎、山崎賢耕、野沢武蔵

の十一現市議全員出席のもとに、平市政同志会結成当時の基本的線に添うて今後積極的な活動を継続することを再確認し、四月一日午後二時から公会堂日本間で結成式を挙げ、役員その他運営上の諸般の問題を決定することに成つた

追加豫算など提案
平市議會再開　各部委員會に附託

最終平市会は二十四日再開、二十九年度追加更正予算千四百六十七万六千九百八十一円（累計額三億一千百四十五万四千七百五十七円）ほか三十九年度特別会計の追加更正予算などが提出され、市当局から一括説明あつて一日休議、午後一時半再開三十年度当初予算など提出議案に対する総括質問が行われ、各部委員会に附託した

追豫の内容

二十九年度追加更正予算次の通り（単位円）

「歳出」▼役所費九三九、四三八▼警察消防費二、五二二、九九〇（二丁目火防組詰所建築補助五万円、火防組奨励交付金五万円、平一小の防火水槽兼プール二百五十万円など）▼土木費九〇六、五一四減（紅葉橋復旧工事二、二五一、〇〇〇円は三十年度繰越、白銀町舗装負担金十万円、新川河床浚渫負担九十万円、赤井岳道路改良補地負担十万円など）▼教育費四、二七三、四五五（赤井小工事費並に校長住宅建築費、赤井中校長住宅費など二百八十六万余円など）▼社会及労働施設費一、三六〇、〇〇〇（鎌田山田地取得造成費十六戸分、胡摩沢六戸分三十九万円養老園ラジオ放送器具十万円など）▼保健衛生費二八、三〇〇（火葬場電話施設費）▼産経費一、七五四、一一四（農林費百五十六万余円、商工費として銀座街ネオンアーチ補助十万円など）▼財産費九〇、〇〇〇▼統計調査費二〇四二八〇（個人サービス業経済調査費、個人商工業経済調査費など）▼選挙費一〇六、二六〇（衆院選挙費）▼公債費一、四四六、九六九減▼諸支出金五、七五二、六二七（納税奨励費六十四万余円、繰出金三百二万余円減、合併町村一時借入金返済金八百十二万余円、豊間五十万円、高久九十万円、夏井七十万円、草野四百万円、赤井二百二万円など）

「歳入」▼市税八、一六一、五〇〇▼地方交付税四一七、〇〇〇減▼公営企業及財産収入六五五、五二〇▼分担金及負担金一五一、五〇〇▼国庫支出金一、八〇一、一八三▼県支出金九三三、二六〇減▼寄附金一、二一六、六二五▼繰入金二、〇〇〇、〇〇〇（競輪事業より繰入）▼繰越金一四二、五六〇減▼雑収入五、〇八二、四七三（町村合併による剰余金として豊間十七万円、高久五十六万円、夏井八千円、草野三万六千円、恩給共済組合納付金三百八十六万余円など）▼市債二、九〇〇、〇〇〇減

仲町通り水びたし
來年度は綺麗に舗装

平市内の新しい国道は長橋町から真直ぐ税務署前を通つて平驛から新川町に抜け鎌田町に通ずるコースになるワケで平復旧事務所では一応長橋町から三十米道路の交叉点まで区劃整理を二十九年度一杯まで終り、本年度からこの間の舗装と下水工事を総額二千万円で本格的に着手する計画であるが、連日の降雨で仲町通りは大水があつたアトのように水びたし、通行人たちも依然古い道路だけ使用しているので〃新しく拡張されたといつても何んにもならぬ〃とこぼしているが、これも下水工事を施さぬ限り雨がふれば必ず水びたしになるので、それまで待つて欲しいと同事務所では語つている（写真は雨のためヌマと化した新国道）

箱崎氏の當選無効と
橋本氏から異議を申立て

磐城市議会議員選挙に第二区（玉川地区、定員三名）から立候補し当選した箱崎滝三郎氏と僅か三票の差で次点となり惜敗した同金市成字前田三農橋本佐多寿氏は二十三日磐城市選挙管理委員会委員長小浜長太郎氏に対し当選無効の異議申立を行つた、橋本氏は現市議で今回の投票中無効として取扱つた三票は有効であり同区から立候補して当選した橋本雄吉氏と同姓であるため開票の際〃橋本〃とある投票は両橋本氏の間で半々に分けて得票の計算に附していたゝめ箱崎氏より〇・七票（橋本雄吉氏は一・三票）多いことになり当然箱崎氏の当選は失格し橋本佐多寿氏が当選となると云うものである

（当選無効異議申立書）昭和三十年三月二十日執行磐城市会議員選挙第二選挙区に於ける無効投票中昭和二十三年十一月三十日大阪高裁判決並に昭和二十五年三月二十八日名古屋高裁判決の判例に基き有効と認められるゝに付小生の投票は四百十票となり箱崎滝三郎氏の当選は無効と思考せらるゝに付再調査の上決定相成度異議申立いたします

高木サタシ　高木佐多寿
サタキチ

高木とあるは橋本の橋のホヘンを書き忘れたもので「サタキチ」のキの字は余分につけたもので「サタチ」と書いたものと思われ、更に前記の判例によると「投票に表われた氏名の記載が正確を欠き文字の不鮮明、誤字、脱字、あて字、文字の転例などがあつてもそれが候補者の氏名又は氏もしくは名を有する候補者がないときはその候補者に対する投票と認定するのが相当である云々」とありこれに対する市選管委の処置が注目されている（写真は橋本佐多寿氏）

三少年に特別賞
宮小で授與、勤労を高く評價

（写真は上から荒先生、川村、山口椿屋の三少年）

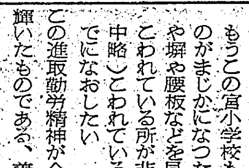
戸籍上の手違いから学令期を逸し五つも年下の弟と同学年に入学したが一教師の努力が実を結び、二十三日晴れの卒業式場で内郷市宮小学校創立以来二度目の特別賞を十七才の卒業生川村鉄男君と同級の山口幸雄君（一三）同椿屋務君（一三）の三君に授与され参列者に深い感銘を与えた

この少年は同校六年は組（担任荒公子教論）の卒業生で、年長の川村少年は一種の特異児童視され勝ちで友達も少なく孤独感から何時しかひねくれた気持になり教師間の印象もあまり良くなく、自然と学校は嫌になつていたが、去る二十九年四月新年度の学級編成が行われたさい荒先生は同少年を自分のクラスに迎え努力した効果が報いられたものである、現在同校は老朽校舎のため復旧改築費二千万を投じて再建する事になつているが便所はこわれ廊下は穴だらけ、腰板は朽ちている有様で怪我人の続出で学校当局の悩も少なくなかつたのを知つた川村少年は級友の山口、椿屋両君に呼びかけ「おいらの手で修繕しよう」とばかりクラスに備えてある工作道具を持ち出し朝は六時頃登校し暇のあるたび三人で修理作業を初め理解ある佐藤校長や荒先生から渡される材料で便所、下駄箱、渡り廊下、果ては天井の雨もり箇所まで三人はあくことなく続けられた去年の大風で吹きとんでしまつた便所もこの三名がリーダーで組の全生徒をひきつれ見事に建て直おしたエピソードもあり在学中最後の新聞となつた学校機関紙「小鳩新聞」三月十八日発行に「修繕してから卒業したい」との二段見出しで次の様な文を投稿している（原文のまゝ）

もうこの宮小学校もお別れするのがまじかになつたので校舎内や塀や腰板などを見てまわるとこわれている所が非常に多い（中略）こわれている所は卒業までになおしたい

この進取勤労精神が今度特別賞に輝いたものである、善導した荒先生の人間教育はすぐれており昨年の卒業式にも同先生の受持生徒である木戸寅四郎君（当時十九才）が南方からの引揚者で小児マヒに悩む身で入学、再起不能と思われた同少年に希望を与え勤労精神を説き見事に更生させたその功により同校初の特別賞が授与された、また荒先生の指導力の卓越な事は若き女教師の範として高く賞讃されている、当の荒教諭は「私の力だなんてとんでもない、子供達にはだれでも良くなろうとする心があるものでこの個性を生かしてやるのが教師の務めです、要は生徒を心から愛し親身になつてよい相談相手となる事でしよう」と語り佐藤通毅校長は「特別賞を授与した二回とも荒先生の教え子でしたが立派な人格と識見を具備しており私達職員も先生の指導力には感服しております、又小卒生が十九才、十七才と言うケースは全国でも殆ど例を見ない事と思いますがそれにましてうれしい事には横道にそれる事なく優秀な成績で卒業式を迎えた事は教育者として喜びにたえません」と語つていた

平電話局長更迭



四月一日附東北電通局辞令で平電話局長渡辺儀一郎氏（五三）は東北通信工作工場長に同局庶務課長佐藤竹喜氏（五二）は弘前電話局庶務課長に栄転した、後任局長には元一関電話局長永峰健二氏、同庶務課長には郡山電話局庶務課長石井義幸氏が赴任する、なお渡辺局長は二十七年十一月一日六級局の平局に赴任以来合併に伴う業績がかわれて五級局に昇級し、また佐藤課長は大正九年十月二十五日以来三十四年間の永きにわたり平局に尽して来た（写真は右が渡辺氏、左佐藤氏）

天気予報

廿四日

「今晩」北よりの風始め曇がち、小雨の降ることもあるがのち晴間がある

「明日」北よりの風曇時々晴

海上今晩風波がある、明日始め風波があるがのち次第におさまる

春の天候不順
夏までの天氣豫想

？？？？？

今春の天候は例年よりやゝ不順の模様だと磐城市小名浜測候所では春から夏にかけての長期天候予想を二十二日次の通り発表した

「春期」変動が大きく時々強い低温のあらわれる期間もあつて例年よりくらべてやゝ不順の傾向

「梅雨期」梅雨入りは早目だが明けは平年と大差がない見込み気温は時々低温があらわれることもあるがおゝむね平年並でしよう、又降水量は平年並ないし多目になりそうだが昨年程著しい梅雨にはならない見込み

「盛夏期」大体平年並に経過する見込み、然し盛夏期後半から初秋にかけては低温の現れやすい懸念もある、盛夏期全般を通じて一昨年（昭和二十八年）や昨年のような異常低温とならない見込み、なお降水量については今のところ予想がつきませんなお本県の例年の梅雨入りは六月十三日ごろ、又梅雨明けは七月十五日ごろ

？？？？？

専
信用のマーク
スプリングセール！
10万円
特賞
S

3月25日から
4月1日

★正札で良い品を買いましよう！★

「正札運動」全國賣出し

正札運動期間中千円お買上毎に感謝券呈上
補助券は全国日専連の店共通
特賞 100・000圓…50本
1等5000円…500本　4等200円…25000本
2等1000円…1000本　5等100円…30000本
3等 500円…3500本　等外 空くじなし
（特賞は5月10日東京に於て抽せん 1等以下は三角くじにて即時抽せん郵便振替貯金にて差上げます）

主催 日本専門店會連盟 平専門店會

伊藤助役 豫算を説明（下）

▼産業経済費（二七、三三五、六九八円）前年度より千九百三十一万余円の増、これは町村合併で農林、漁業地域の拡大に伴う産業振興費の増額と十四号台風災害の農業土木事業費を計上したゝめ、主なものとして農業委員会が七つとなり新に各委員会に一名ずつ計七人の技術員を配置し、委員数も五十名と増員したゝめこれらの人件費とゝもに二百十三万余円増嵩した、農林費中災害農道橋復旧費七百十一万円、災害江堰復旧費二百八万円、災害排水路復旧費二十五万四千円、災害農地復旧費十四万円、土地改良溜池整備事業費二十五万四千円、土地改良農道整備事業費五十七万円、用排水路整備事業費十万五千円等が新規計上の事業費である商工費では商工振興施設費、工場誘致対策費等百四十五万円、商工会議所及び商店会連合会の助成費五十万円を計上し、水産費に水産振興助成のため漁業協同組合助成費に二十万円、養殖事業に五万円、港祭及び水泳大会に五万八千円を計上、観光事業では合併地域の幾多観光地を広く紹介するため草野新舞子に臨海学校を新設、豊間地区海岸に三カ所の海水浴客脱衣場施設等新規経費三百九十二万余円を計上▼財産費（三六二二、九〇四円）前年度より百六万余円の増、主として市営住宅敷地借上料や恩給積立金の増額である▼統計調査費（四五、〇〇〇円）当面の必要経費に止め事実発生の都度計上の見込み▼選挙費（一、六五二、九四二円）四月執行の市長、市議、県議並に県教育委員の選挙費用を新規計上したゝめ百二十万五千余円の増額となつた▼公債費（一四、七二四、四七一円）市債の元利償還金で前年に比べ四百二十一万三千余円増▼諸支出金（六、九五六、〇四八円）前年より百十九万四千余円の減となつた、これは徴税費で五十八万八千余円を増しているので繰出金で百七十五万二千余円を減じたゝめ▼予備費（二、〇〇〇、〇〇〇円）これは前年通り

財源＝市税で千五百五十八万一千八百余円、地方交付税で前年度交付額の九十％二千四百万円公営企業及び財産収入で二百一万八千円負担金及び分担金で二百五十七万四千円、使用料手数料で千二百八十八万円、歳出に伴う国庫支出金五百八十六万三千余円、県支出金千二百四十四万四千余円、寄附金で歳出各種事業に対する受益者寄附金三百十三万六千余円、競輪事業その他特別会計からの繰入金千五百八十七万七千余円、雑収入四百一万六千余円などを見込み、歳出公共単独事業の財源として市債に六千百二十万円を見込み、収支の均衡を図つた

【特別会計】▼水道事業＝一般経常経費のほか需要費中、原材料費給水工事費などの増額をみ、更に継続的に新川以南の配水管布設工事を執行するため総予算三千六百五十万八十八円となつた▼健康保険事業＝合併新市域の保険実施は豊間、赤井の二地区であつたが本年度から全地区に亘り実施を計画従つて人件費、保険給付費の膨張となり予算二千九百二十八万七千六百三十一円となり前年より八百八十五万八千余円の増額となつた直営診療所についても豊間、赤井診療所の経費総額四百六十五万七千余円で運営する▼競輪事業＝近時デフレ政策の余波で売上げ低下一層健全運営を期すため一開催売上げ三千五百万円の見途として予算編成▼児童遊園地事業費＝予算百八十一万五千円で本年度は公園に小動物飼育の施設（サル六頭）及びローラースケート場の拡張を計る▼都市計画新川北第一区劃整理事業＝二十九年度から四カ年継続事業で実施中だが本年年は七百七十万円で実施する▼高圧線新設事業＝三百二十五万九千百六十円でこれは事業費、借入元利金を一般会計繰入金を以つて償還する

勿來高合格者

加藤勲 安富猛雄 田村喜重 二藤部正義 宗形一幸 羽根田一雄 長谷川憲弘 佐藤孝一 小野文徳 田子喬士 川島富子 緑川八重子 井上慶一 小林昌彦 関根協蔵 山田進通 荒川満 遠藤進久 小林昇 佐々木孝志 小坂一夫 岡部幸平 石田幸次 金成政雄 小泉賢治 渡辺淳 緑川善雄 荒川勝治 三浦慶久 沢畑紀一 馬目信征 飯島眞 横山薫 鈴木秀伸 佐藤隆 小島節子 川井紀子 蛭田ステ 藤田よし子 園部テルヨ 下山田弘子 国分みどり 秋元三枝子 山田寿子 松田正子 平山紀子 藤田道子 鉄征子 吉田久美子 安島シマ子 舟生君江 秋元ツヤ子 鈴木道子 西山テル 上野美奈子 黒沢清子 遠藤陽子 大平博滋 高木秀夫 安島敏彦 蛭田美津子 緑川好弘 佐々木隆一郎 坂本渉 朝日茂生 篠崎韋 正木三郎 佐藤喜美 斎藤英彦 丹野善明 馬場辺郎 鈴木慶一 蛭田秀男 斎田啓二 関東功 坂本勝彦 山田耕郎 園部チヨノ 蛭田幸枝 佐竹延子 田子民子 園部キミヨ 蛭田ミチ子 園部シゲ子 大友哲郎 荒川清美 酒井秀明 小野俊男 青天目征夫 駒木根信行 鈴木功 遠藤洋 金賀茂 平子好雄 蛭田直孝 長久保光興 篠原ヒロ子 藤田ヨシ子 金子喜代子 幕田千恵子

四倉高合格者

▼普通科（一二三名）

若松長寿 古市満家 鯨岡千代 長谷川懲正 鈴木裕 杉田清彦 愛川義明 長谷川篤弘 古市平吉 門馬勝之 猪狩喜久子 木村武 小滝信武 林多恵子 鈴木綏孝 中野哲男 高橋信一 遠藤静子 渡辺君枝 渡辺照子 中野京子 鈴木厚子 大和田マサ子 林美美子 佐藤一至 樫村勝寿 鈴木忠勝 梨羽一郎 八幡ヤス子 坂本聡典 小野京男 田辺繁 中山耶一 秋田教子 門馬正二 横山蓉美 木田友子 松野辺光右 磯谷聡 長谷川倍太郎 渡辺初枝 猪狩光子 大和田律子 石塚勢通子 高橋幸子 豊田辰子 小林ヨネ 鈴木将文 鈴木操一 新妻キヨ子 長谷川澄江 矢内利子 下川かず江 山形京子 遠藤武 新妻信一 猪狩善明 志賀忠一郎 長谷川智子 丹野誠 船生勢津子 高木慈明 中川通正 永井都 小渋ノブ子 鈴木忠雄 松田政伸 日高啓江 竹島寿子 高木典子 会田キ〆 渡辺静江 山野辺敏子 佐藤キイ子 菅波悦子 金成直子 金成美智子 鈴木セン子 渡辺とき子 飯島千恵子 木村米子 高崎里子 新妻ツネヨ 片島則昭 吉崎登志子 人見道子 高橋健次 大平喜子 斎藤貴美江 深谷クニ子 佐藤悦子 明智己久世 小林忠弘 佐藤征夫 木村朝一 木村朝次 有坂浩 阿部伸美 北郷英美子 箱崎イツ子 賀沢勉 猪狩勝男 佐藤美佐夫 野口操 新妻忠男 鈴木正三 松本寿 長谷川英夫 志賀村文男 振原善夫 深谷忠正 草野治夫

▼家庭科（五七名）

小野慶子 小野八重子 猪狩教子 緑川端子 鈴木トヨ子 片寄イチ子 小林正子 西山ヤエ子 戸田ミヨ子 金成勝子 根本幸子 高木雨子 渡辺碧子 柳原幸子 吉田ユキ子 小野陽子 猪狩聡子 柳井八重子 谷平ヤス 矢内圭子 松本佑子 鯨岡輝美子 猪狩ミサヲ 坂本せい子 鈴木勝子 猪狩末子 吉田和子 松本富子 新妻勝子 鈴木忠子 潜野圭子 中根灯子 伊藤美枝子 箱崎栄子 志賀節子 遠藤節子 根本弘子 赤塚房子 須藤徳江 鈴木ミドリ 酒井ヤイ子 松谷系子 箱崎文子 佐野美智子 鈴木八重子 小川京子 後藤美子 青木千枝子 四家トヨ子 吉田幸枝 町田朋子 柳井令子 木田訓子 門馬静子 鈴木久子 佐藤茂子 佐藤令子

▼水産科（四一名）

田中茂 遠藤啓一 渡辺恵永 鈴木唯夫 鈴木周平 片寄徳次 鎌田忠男 伊藤喜安 根本靖夫 吉田満 渡辺正浩 鈴木敏之 鴨原光二 高崎嘉教 長谷川哲敏 鈴木七郎 鈴木幹夫 渡辺邦彦 坂本征夫 山内喜男 菅波正弘 東修恵良 鯨岡仁 渡辺俊 渡辺芳一 菜花健雄 新妻博 穂積武雄 佐藤十三夫 塚原実 新妻朝雄 山崎国男 中野勝男 渡辺正三 木田安行 鈴木久貴 鈴木征二 勝倉好美 鈴木敬嗣 安島紀男 佐藤恒男

男爵種を植付
入遠野村の試験地

農林省農地事務局から冷害対策馬鈴薯増産試験区に指定された石城郡入遠野村大字大平開拓団五十嵐喜七さん（四三）ではこの程地方事務所農地課の指導で開拓地五畝に種馬鈴薯（北海道産男爵種）二十貫を植付けた、これは二十八、九両年の冷害減収を馬鈴薯栽培で克服するため農林省が各県の高冷開拓地に試験地区を指定して七月上旬収穫の成否により三十一年度から本格的な馬鈴薯増産普及のモデルケースとしたもので、新たに雑木林五畝を開拓した五十嵐さんは堆肥五百貫を加えて入念な作付を行いその成果が注目されている

山神祭開催
期日きまる

常磐炭鉱で年に一度のお祭りと全山あげて祝う石城名物の一つである恒例の山[illegible]は来る四月十五、十六、十七の三日間と決定したが当日賑やかにくりひろげられる行事内容は山神社管理委員会で近く協議の上決定する事になつた、なおこれにともない四月の公休日は三、十、十七、二十四の各日曜日の外に山神祭当時の十五、十六の両日は特別休日となつた

赤ちゃん審査會

第七回赤ちゃんコンクール（二十九年三月生れ）赤ちゃん大会（四月から六月まで生れ）の第二次審査会は二十五日午前十時から平保健所長室で行われ、二百名の第一次選衡の中からコンクール郡代表として男女各二名、赤ちゃん大会郡代表として各月ごとに男女各一名が選ばれる

療護園修了式

平市中平窪古舘福島整肢療護園では二十五日午前十時から学習終了式と退園式を行う、退園児童八名

ズリ山を仰ぐ子供達
泉川秀雄
【112】

「…」千歳はこの老人の云うまゝにだまつていた。

「ところで先生はどちらからお通いですか」ふと話題を変えた。

「T駅からです」千歳はポツンとこう答えた。

「私もT駅まで行くんですがなところで、伊丹旅館て御存知かな」

この白髪の老人は人なつこい顔をして親げに話をかけて来るのだつた。左手にもつている革のカバン等から見ても決して普通の行商人ではない事はすぐ分かつた。どこか奥深い教養を身につけていた

「伊丹旅館と云いますと駅前の大通りを右に曲がつたところにある処でしよう」千歳は親切にこう答えた。

「あゝ、そうですか」老人はこの旅館について始めてらしかつた

「すると伊丹旅館は始めてですか」

「千歳はこの老人に何かしらの興味を抱いた。未だ話して何分かしか経たないのにこんなにも親しく話が出来るものであろうかと千歳はむしろおかしくなつた。

「そうなんですよ」老人も微笑し乍ら答えた。

ただ旅の者として一時の気休めに話をしている様にも思えた。

やがて改札口が開いてみんなの後に続いて二人も改札口を出た。

プラットホームにたつた二人は思わず寒さのために身震いした。プラットホームを通り抜ける冷たい風が襲つて来たからだつた。空には星が無数にまたゝいていた。

「これから寒くなりますなあ」老人は何か遠い過去の人生を考えていたのかふと顔を上げた。

「ハア…」千歳はこの白髪の老人が自分の家の叔父に似ているのをふと思い出した。一昨年亡くなつた叔父の面影にどこか似ているのを感じていたのである。

千歳の叔父というのは今から十九年位前に渡満し、ハルピンで大分、大きい製鉄所を経営していたのだが戦争の激しかつた昭和十九年に故国日本に引き揚げ東京で某商事会社を経営したのであるがふとした事からその会社が火災になり会社再建も空しく暫らくT市で余生を送つていたのである。

この叔父もやはり白髪であつたのである。優しく然かもどこかに人品があり千歳の尊敬していた叔父であつたのである。

この叔父の生前の微笑が時折り千歳の顔に浮かんでは消え、消えては浮かんだりした。この叔父とこの白髪の老人はよく似ていた。

やがてT駅行の汽車が侵入して来た。プラットホームに並んでいた人々はそれぞれデッキの方に歩るいて行つた。

中に入ると電燈が眩しく眼を射る。車内の香りが強く鼻を射る。乗客は可成りいた。

「こゝに腰をかけますかな」その老人は空席の場所に静かに腰を下ろした。

千歳は相対坐した。始めて二人は真正面にむかい会つた。

「この頃の汽車もどうやら昔並みになりましたな」この老人は辺りを見廻し乍らこう云つた。屈託のない人らし

新しいDPは富士

平駅前でいつ
何時でもお食
事のできる店
ときわや
デンワ 一三六〇

電話四九四番
一般建築材 建具材
阿部材木店
平市紺屋町

洋服は高島屋
平市南町 大和田医院前

ラジオ
部分品 電球 螢光灯 乾電池 電気器具 暖房器具の御仕入れは各一流メーカー代理店の弊社へ
田村無線電機株式會社
平市1の47 TEL636

カメラは田中

アラブという間（ま）にヨゴレがおちてユスギは一度でよいしかもこれまでの粉石鹸の倍洗える―重宝お徳用な化学新洗（ソープレス）濯剤（ソープ）です！
二〇〇瓦八五〇円

花王粉せんたく
ワンダフル
ソープレスソープ
一番進歩した…
木綿・化繊・毛・萬能に使…
石鹸より数倍進んだ…
石鹸でない化学洗剤

代理店 大一屋 平電1二3

大黒屋通信 NO10
お好みネクタイ投票コンクール
當選者發表！
去十二日幕あけました投票会も皆様の多大な御協力と人気の内に二十一日終了しました。厚くお礼申上げます。抽選の末左記十名様に決定しましたのでお知らせします。

①	八〇	富岡みき	平
②	一二一	田中治	平
③	四〇	松崎光一	平
④	九二	鈴木正保	内郷
⑤	五〇	松本平治	常磐
⑥	五三	本田雅子	好間
⑦	七九	奥村菊次郎	平
⑧	一一	服部三朗	平
⑨	四七	村上社善	常磐
⑩	六一	高原儀一	常磐

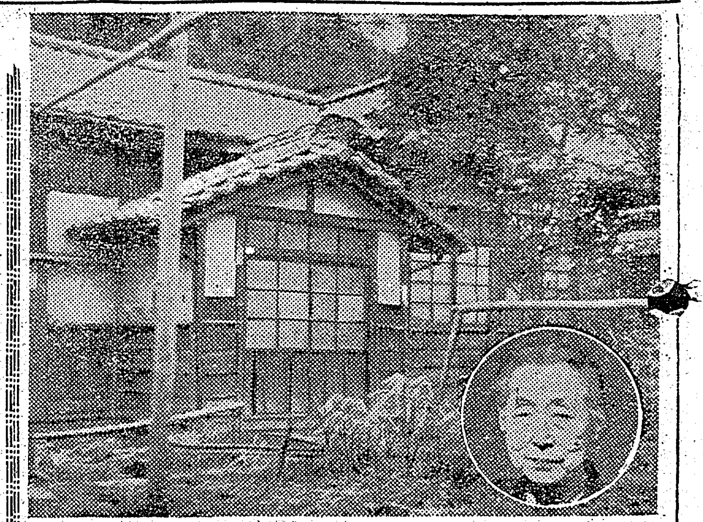
通知書御持参の上三月三十一日迄に平母店へお越し下さいませ。
皆様の利益を護る店

御散策と御花見には
是非 にた川 の
壽司と料理辨當を
才槌小路店 電一〇二一
紺屋町店 電一四五六

放射線科
内科
谷口医院
平市（電）一〇六五

〇看護婦家政婦の御用命は
電話三〇七番
労働大臣認可
平看護婦家政婦幹旋所
（親切丁寧な看護婦 家政婦 御利用下さい）
平市南町

あなたの趣味を象徴するもの
よい趣味ばかりでなく、人格までも表わす春の洋品、服飾品はいかが？粋、渋好み、明朗、軽快などどんな品ものでも揃つている藤越を一目どうぞ
◎新柄ネクタイ五〇〇円より
◎造花　三〇〇円〃
◎ナイロンリボン三〇円〃
◎プリントハンカチ七〇円〃
藤越
小名浜 平市



元産婆學校を寄附
樋口女史が福島市に轉居

常磐市の

常磐市の社会事業に幾多の功績を残し、湯本婦人会創設の功労者であり、同市産婆界の元老である同市天王崎一三七樋口リウさん(七七)が常磐市から去つて行く—樋口リウさんは夫重郎氏(一昨年死亡)と共に東京から湯本に移住して来たのが大正の初期、あれから四十五年が経過している、東京で事業に失敗し湯本での再建の途はなかなかけわしいものであつた、樋口さんは産婆を開業して生計の途をたてたが、樋口さんの道は堅実であつた、昭和八年に産婆看護婦学校を創設した、戦争中まで継続していたが戦争のため中絶の止むなきに至つたのである、こゝから送り出された人は三百名にも達していよう、社会の中堅として働いている人も多い、樋口さんは特に社会事業の念深く、この間民生委員、児童委員、防犯協会委員、社会福祉協会委員などにたずさわり社会の教化に専心もして来ている、とくに戦後婦人会の創設を痛感していろいろと奔走して湯本婦人会の創設者で初代二代の会長に選ばれきようの強固な婦人会を築きあげた功績はとくに大きい、婦人会でもこの効に報ゆるため胸像がたてられ廿八年七月二十三日除幕式が行われたのである、その樋口さんが今度福島市に在住する県労働部長の職にある令息正氏の許に行くことになつたのである、常磐市会でも感謝状を贈ることを決議している、樋口さんは転居にあたり産婆学校であつた建物(四十坪)を市に寄附した、但し保育所などの社会福祉方面に利用して下さいとの意志を傳えている、市当局でも喜んでこれを受け使用の方法を考えている

樋口リウさんは語る＝今月の三十日に出発する予定です、懐しい湯本で去るに忍びないのですが主人も亡くなつており、老婆の一人暮しで子供も心配しているのでしよう、長い湯本の生活だけにいろいろの思い出もずい分ございます、これも一えに皆さんのお力添えと感謝しております

（写真は市に寄附した旧産婆学校の建物、円内は樋口女史）

菩提院で電話

平市古鍛冶菩提院ではこのほど電話を新設した、電話二二八一番

絞殺して強奪す
老婆の死体を解剖

昨報　二十三日午前七時ごろ磐城市大字泉字宮手地内で発見された老婆の変死体は二十四日午前十時から植田町前田医院で県本部森合強力班長、つくも田磐城署次席立合いで黒田博士の執刀で解剖されたがこの老婆は廿二日午前八時頃植田町大字岩間字金山の自宅を「米を買いにいく」と出たまゝ帰らぬ日雇人夫佐藤勝治さん(七三)の妻スヨさん(五九)と判つた、死因は解剖の結果午後三時半ごろ判明するがスヨさんの首に二重に強く巻かれた黒地の絹の風呂敷と赤メリヤスの腰ヒモがついており他殺の疑いが濃く、さらに米を買うために持つて出た千円がないところから絞殺して奪つたものと見て犯人捜査に躍気となつている、なおスヨさんが家を明けることはこれまでになかつたといわれる

乗組員救助さる
沈没した稲荷丸

一部昨報＝二十二日午後二時ごろ磐城市大字中の作字川岸三三作山富太さん所有の底引漁船第七稲荷丸(三九トン)＝昨報第八稲荷丸(三九トン)は誤り＝船長吉田作次さんら十一名乗組〃が操業先から帰航中、双葉郡末続より東約十二マイル沖で激浪のため沈没したが幸い、乗組員は附近航行中の茨城県平潟港所属第三平栄丸に九名、江名港所属第五三吉丸(三九トン)に二名計十一名が全員救助された、沈没船の損害は七百万円

強奪　二十二日午後一時四十二分平発常磐線上り三二八列車に乗車中の茨城県多賀郡磯原町無職富山健二さん(七七)は泉駅で下車する際二十二才位の男にジャンバーに入れて置いたバラ現金二千五百円中五百円を強奪されたと平鉄道公安室に届出た

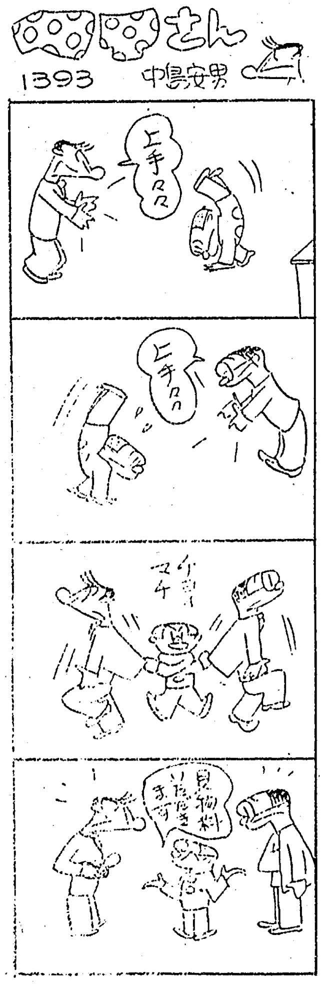
就労停止処分

平職安所は内郷市宮町字滝五四菊地美代吉(三三)を二十四日から就労停止処分に附した、菊地は失対労務者として去る十七日午前九時ごろ同市小島林道工事現場で僅かなことで同僚の黒川吉一さんを連れ出して顔を殴り、一時人事不省に陥入らしたもの

サボ煽動の二人を処分

平職安所は不良失対労務者として内郷市綴町字堀坂五島武雄(三二)同市宮町字嶋根松野紀之(三三)の両名を二十八日から就労停止処分にした、二人は内郷市小島補導所現場で就労中、無断で職場を離れサボ煽動を行うなどの行為が度々あつたもの

空巣　常磐署では二十二日双葉郡大久村字三勝生れ住所不定無職黒沢勝助(三五)を窃盗の疑いで身柄送検、調らべによると黒沢は同市湯本字関船字諏訪下二五果物商寺田健司さんの空巣を計画し十日と十八日の二回にわたり忍びこみ同宅に寄留している森山秀子さん所有の緑色オーバー一着、ボストンバツク、小型トランク外衣類二十九点(時価一万円相当)を盗み遊興費にあてゝいたもの



就職の第一陣
廿八名が愛知縣へ

中學卒　今春中学卒の県外就職第一陣赤井中学出身の池田幸子さん(一六)ら二十八名が二十三日午後三時十五分平駅発上り列車で愛知県の織物工場に旅立つた、この日は真新しい服に黄色いリボンを一杯に飾つた少女達が父兄や親友、平職安所員に送られ、始めて離れる母娘の無言の話、友達と賑かに談笑する一組など悲喜交々の出発風景だつたが、「三十一年の正月休みにはパーマネントに流行服にスツカリ大人びて帰つて来ますよ」と係官の話、平職安所紹介の県外就職は県内就職の半数で約四百名が、二十五、二十八日と矢継早やに出発する（写真は父兄に別れを告げる県外就職第一号）

彰式も行う

罹災者に贈る

常磐炭鉱鹿島坑龍力沢主婦の会(会長比佐ツネ氏)では小川町元福島炭鉱大火の罹災者従業員百三十名に対してこの程各家庭からもちよつた米一斗五升、麦一斗、衣類百三十点その他生活用品など多数を贈つた、又労組から高萩書記長らが慰問した

基督教講演會
廿七日に開く

いわき無教会では来る二十七日午後一時半からいわき民報社ホールでキリスト教講演会を開く　講師は東京都立大教授片山徹氏　演題は「新しい時代をつくるもの」聴講料三十円

正直なよい子

田人村小学校一年生薊田安君(八ツ)は去る五日午後一時頃帰校途中道路で現金一二〇円を拾得し水竹校長に届出た、落し主は同校一年の小野憲章君とわかり正直なこのよい子を十七日植田警察署に表彰方を申請した

平驛ですらる

二十二日午前二時五十八分平発常磐線上り急行二〇二列車に乗車中の岩手県千厩町種子販売業平根好之介さん(六六)は平駅で便所に行つている間に座席に置いたリユツクサツク、ボストンバツク時価七千五百円相当を盗まれたと平鉄道公安室に届出た

パートタイム制
就職の第一號出る

〃臨時でも良いから働きたい人　臨時または直ぐに人の欲しい人〃にと銘うつて平職安所が四月一日から開設するパート・タイム制(簡易職業紹介)に早くも二十四日平市歴匠町四和田幸枝さん(二〇)が同市仲町平電気商会の事務員として第一号就職が決定した

就職難打開に同制度活用のため平職安所では求人、求職者の受付は「日曜、祭日、夜間の何時でも結構」ですと電報式のスピード紹介方法を採用するサービス振りで、同制度の大要は求職者❶長期の定つた職業に就職したくとも出来ない人❷働きたいが家庭の都合で出来ない人、求人側❶臨時に人の欲しい時❷大掃除や棚卸で人手が欲しい時❸家人が病気の時の看病❹留守居番❺病人の附添が挙げられ第一号に就職した和田さんの場合は一日二百円で勤務時間は八時から午後五時まで、契約期間は三月二十四日から四月七日まで

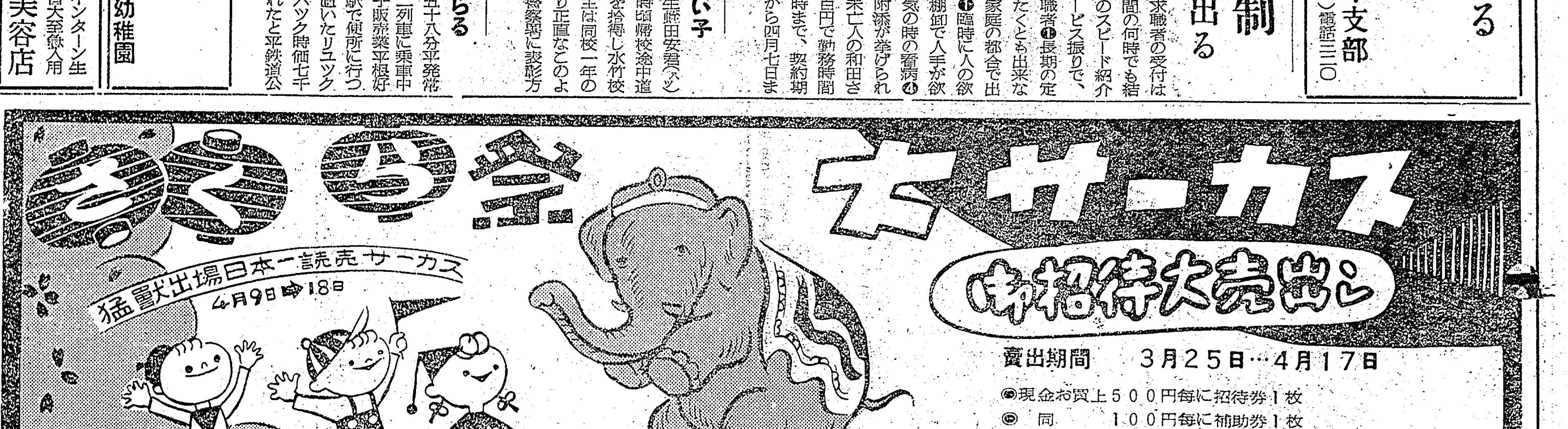
敬老會開く
宮第一部落館

内郷市内町宮第一部落館(主任曾野啓助氏)では二十七日午後一時から宮保育所で同地内に居住する七十才以上の高令者を招待して敬老会を催す事になつた、なお同席上で仲良し子供会のよい子達の表

外勤職員を募る
年令　二十五才以上の男女
固定給あり　委細面談
第一生命平支部
平市南町七一（平館隣）電話三三二〇

幼稚園助手募集
一、年令二十一才以下の高校卒業者
一、履歴書（写真添）成績証明書、家族状況応募感想文を提出の事　面接日通知す
平市揚土三〇（県社境内）　いなり幼稚園

理容と美容
女子実地インターン生
その他見習大至急入用
四倉町本町　飯島理美容店



さくら祭
大サーカス
御招待大売出し
猛獣出場日本一読売サーカス
4月9日⇒18日
賣出期間　3月25日…4月17日
◎現金お買上500円毎に招待券1枚
◎　同　　100円毎に補助券1枚
◎チケツト6カ月精算払（売出し期間中に限り）
平指定商連盟會

一枚のカルテ

立花恵子【21】

白い燈台　一

西の空を、夕焼が美しく染めていた。久しぶりの夕焼である。ミヨシは、ふり返つてアカネ色に染つた白い燈台を松林越しに望むと町の方に歩き出した。野良帰りの農夫達が腰を屈めて挨拶してゆく家々から立上る煙は先に帰つた主婦達の夕餉の支度である。すべてが平穏にみえるこの町にも、今、形のない病魔の触手が動きつゝあつた。町の高台にある小学校に火を発した赤痢は、またゝくまに拡つて、その原因が飲料水と判つた頃には、児童からその家族にと傳染して、二百名を越える集團発生であつた。四十名定員の隔離舎にはとても収容しきれないので、取りあえず小学校を臨時隔離舎として児童を収容したが、小中学校は休校、しかも、まだまだまんえんの恐れがあるというので、連日の新聞紙上をにぎわし、人々も我が身にいつ襲つてくるか分らない病魔に、極端に神経質になり、おそれ、おのゝいている有様であつた。

町に入ると、方々の家に明りがつき始めたが、子供達のさわぐ声が余りきかれないのは、何としてもものたりなかつた。

横あいからロレツの廻らない歌声に、薄やみの中でふり返ると、近くで一ぱいやつて来たらしい薬屋の森が、まつかな顔でベロベロになりながら近づいて来た。眉をひそめたミヨシが足を早めると、森は目ざとく彼女をみつけてばん声をはり上げた。

「ヤア、先生。相庭先生、何も、そんなに急がんでもいゝじやないかね、先生」

ひよろつく足で、ミヨシに追いついて来た。

「いやア、こんなに赤痢が出てくれたので、わしの会社の薬の売行きは上々、おかげで会社に対しても、わしの面目がたつというもんよ。今日は隔離舎まで来たので、ちよつとそこで胃の腑のアルコール消毒だ」

彼はウイーツとしやくりあげながら顔をよせた。

「相庭先生、今お帰りですかネ。中々大変だ。どうだい、先生、わしの奥さんになつてくれないかね」

酒くさい息を吹きかける森に、ミヨシは冷たい口調だつた。

「森さん、あなたの奥様はどうなつたのです」

「わしの奥さん?、そんなものはいるもんですかネ。わしの見込んだのは先生一人でさア。わしの奥さんになれば大切にしてあげますぜ」

「私のいつているのは最初の奥様のことです。あなたは妾狂いをして奥様を不幸にしたくせに、まだしようこりもなく同じことをやろうとする。私、お断りいたします」

「まア、そう怒らんで。先生のためなら、私の囲つてる女など、皆捨てちやうよ。わしは教育のない女よりは、先生の様に高い教育を受けなさつた方がどれだけいいか知れないんだ。わしの本当に好きなのは、先生、お一人ですぜ」余りにも女性の人格を無視した言葉に、彼女は腹立しくなつた。

「私などよりも、お嬢様を幸福にして上げるべきじやありませんかしら」

「何ね、あんた、そんな邪けんなことというもんじやないよ。わしがこれ程迄にいつてるじやないか。わしの奥さんになれば、女中を使つて遊んで暮せばいいんですぜ。分らんかナ。ねエ、先生」

ネチネチいつて肩に手をかけた

すばやく一歩下つて、彼の手を払い落したミヨシは憎悪をこめて相手をにらんだ。

「森さん、酒をのんだとはいえ、随分失礼なことをなさいますのね今後、この様なマネはやめて頂きます」

サツとミヨシの白い手がひらめいたと思うと〃パチン〃小気味よい音が、彼の頬でなつた。赤くなつた頬を押えアツケにとられてポカンとつゝ立つている彼を尻目にミヨシは暗くなつた町を足早に立ち去つて行つた。

学芸

平一小作品

たくあん

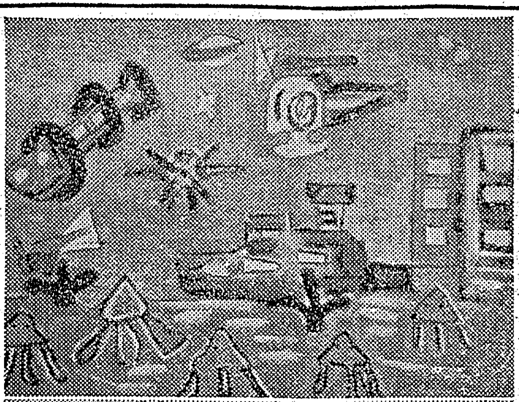
平一小三ノ一　比留間昭子

むかしむかしあるところに、じろべえというすこしばかな、男がいました。そのじろべえもおよめさんをもらわなくてはならないのでごふくやの、むすめさんをもらうことになりました。

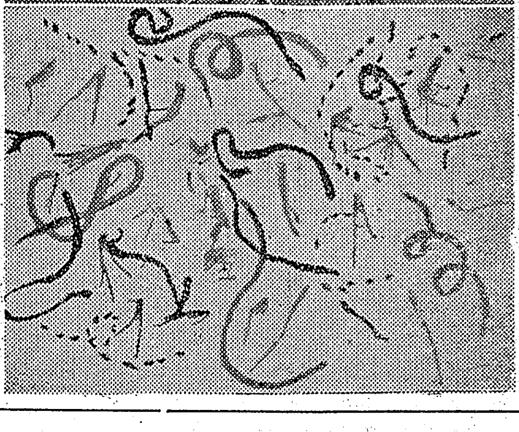
でもばかなのでおかあさんはしんぱいしていいました。「いいかい、ごはんがおわつたらすぐたつてしまわないでおゆを下さいというんですよ。そしておゆがあついときは、口でふかないでたくあんをおゆの中へいれてかきまわすと、ちようどよくなるから、それからのむんですよ。」とちゆういしました。そしてげんかんまでおくりだしました。

およめさんの家へいくと、たくさんごちそうが出ました。ごはんがおわつたのでじろべえは、お母さんのいつたとおりに「おゆを下さい。」といいました。およめさんの、お母さんはあついおゆをついでくださいました。じろべえは、そこにあつたたくあんをおゆの中へいれておはしでかきまわしました。すると、ちようどよくなつたの[illegible]でそのんでしまいました。

夜になりました。おふろにはいろうとしたらおゆがあつくてはいれませんでした。じろべえはこまつてしまいました。そしてお母さんのいつたことを思いだしました。そして、そのうちの人にたくあんを四、五本もつてこさせました。そしてそのたくあんでおふろをかきまわしたそうです。おもしろいお話でしたね。



「火星の夢」　五の三　室越洋一



「楽しきリズム」　六の三　三瓶隆

春の光

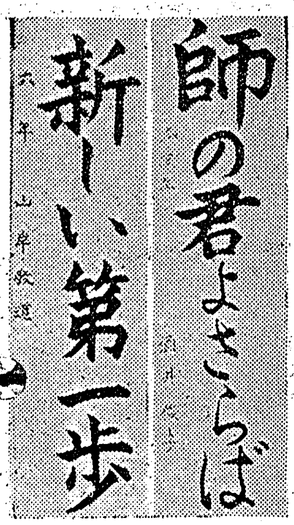
平一小五ノ五　北村浩二

あたたかい春の日
ぼくは、たんぼ道を歩いていく
わきのぼりつこの水をすかして見る
小さなどじようが五、六ぴき
やわらかいどろの上に、日なたぼつこをしていた
草のかげの下を行くめだかのむれ
大きなめだかにつれられて、すーい、すーいとおよいでいく
よわい春の光が、きらりきらりと水にうつつていた

僕の弟

平二小五の四　勝田博志

雨戸がコトコトとなつている。そばで弟が小さな口を半分あけてねむつている。その時ふとみると目からはなにかけて涙の流れたあとがある。僕ははつとした。ねる前に、けんかしたので泣きながらねむつたのだろう。僕はすまない気持ちになつた。末つ子なのでみんなでかわいがるので中々のいばりんぼうで大ていのことは、ぼくのいうことをきくのだが時々かかつてくるのでけんかになるのだ。左ききでごはんたべるのも字をかくのも左で、お母さんに注意されると、右にもちかえるが、又すぐ左でかく。おとなしい時は好きだが時々きらいになる。でも僕がにいさんとけんかするとかならず僕のみかたをして「哲ちやんは、博ちやんの子分だよ」という、ねむつているところをみるとほんとうにかわいい。もうなかせるようなことは、決してしまいと思つた。


師の君よさらば
新しい第一歩

求人案内

十六日現在　平職安所

【男子】▼店員多数、郡内、十五ー二十才、住月千円通日八十円▼拡張員3、常磐市、二十ー五十才、通歩合給▼料理見習多数、平市、十七ー二十才、住月二千ー三千五百円▼醸造工見習1、平市、十七ー二十才、住月千五百ー二千円▼製菓製パン2、平市、十八ー二十五才、一年以上有験者住月二千ー四千五百円▼農夫多数、郡内、十八ー五十才、住月千五百ー二千円▼牧夫1、双葉郡、十六ー三十才住月二千ー三千五百円▼縫線工1、平市、年令不問、通日三百円五年以上有験者▼印刷機械工2、二十三ー五十才、通日三百ー三百五十円三年以上有験者▼製材工1、平市、二十五ー四十才、通日二百五十ー四百円五年以上有験者▼製罐工3、平市、二十ー二十六才、通日二百五十ー二百七十円三年ー五年有験者▼鉛工3、磐城市、年令不問、通日七百ー千円十年位有験者▼自転車修理工1、茨城県、十九ー二十三才、住月六千円一ー二年有験者▼二、三輪車整備工1、平市、二十三ー四十才、通月八千円三年以上有験者▼刃物鍛冶工見習1、平市十六ー二十才、通日百円住月千円

【女子】▼レジスター、平市、十八ー二十才、住月四千円▼織布工多数、愛知県、十五ー二十二才、住月手取二千五百円▼女中多数、郡内、十八ー三十五才、住月千五百外歩合給▼農婦1、安積郡、十七ー十八才、住月千円

園藝養成所
あす修了式

第六回園芸実務青年養成所の修了式は二十五日午前十時から平市神谷県原種農場講堂で行い、三十名の青年が満一カ年園芸実務を修了して各農村部落の推進力となる、優秀修了生次の通り

▼知事賞＝鈴木信一（耶麻郡長瀬町）▼優等賞＝松本忠彦（小川町）木村榮人（小川）斎藤啓哉（磐城）草野忠造（平）▼勤勉賞＝新妻勝男（平）斎藤喜哉、鈴木誠也（四倉町）▼同窓会長賞＝鈴木信一

佛敎清談脱稿
猪狩氏の著作

平市旧城跡佛教研究家弘昭法師猪狩義雄氏はわかりにくい仏教の教義を大衆にわかり易く読ませる読本を欲しいと去る二十三年以来執筆して来た佛教清談（やく三百頁）真理の聖典（やく四百頁）を脱稿した、然し製本費用がないので謄写版で印刷しようと苦心している

納税映畫會

県では納税強調運動の一環として次の日程で広報車による無料映画会を次の日程で行う

二十五日午後六時半から小川小学校、二十六日午後六時半から入遠野小学校、映画は「無法者」「心を協せて」漫画「ガリバー旅行記」

今晩のラジオ

21日

◇NHK　一三六〇KC
六・四五　（郡）四局通信
七・三〇　浪花演芸会
八・〇〇　歌の花ごよみ
八・三〇　「由起子」津島恵子ほか
九・一五　リズムパレード
九・四五　時の動き
一〇・一五　邦楽名曲選　常磐津
一〇・三〇　こんな話あんな話
◇ラジオ福島
七・三〇　唄うパラマックスアワー
八・〇〇　タレントスカウト
八・三〇　あずま演芸会
九・〇五　平凡アワー
九・三〇　夜の調べ
一〇・〇五　名作アルバム

今週の映画

23日ー2日

☆平舘　夜七時
三人娘只今婚約中　続天下泰平
☆民劇　夜六時
隠密若衆　こゝに泉あり
☆聚楽館　夜六時五五分
春の悶え　忘れじの面影（二十八日まで）
☆ひかり座　夜六時二二分
テキサス街道　醜聞殺人事件
☆世界館　夜六時三三分
月笛日笛　花ざかり男一代（二十五日まで）

開花亭のパン

絶讃好評
賣行常に
東京第一
★青星ソース
日本一
うまい
ソース

譲　飲食店
向店舗　間口四間　現在盛業営業中
冷蔵庫あり　電話付　仲介断
姓名在社（10）

募集
写真見習生十六ー二十才までの男子
履歴書又は委細面談
磐城市　助川写真舘　電二〇八

急募
女中さん十七ー二十五才　見習（男）
十六ー二十才何れも各若干名
委細面談優遇　小名浜食堂福島屋電一二三

コーラス
趣味の合唱（混声）愛好家求む
どなたも歓迎　今月末日まで
平市二丁目キクヤ楽器店へ申込乞う　平混声合唱團

男子外交員
急募　委細面談
常磐市湯本町桜木町通り
いわき民報常磐支局気付

コック見習募集
住込み一十八才ー二十二才
洋食と喫茶　ブラジル
平市田町並木通り（電話九九〇）

御婚禮調度品
一割引奉仕中
家具なら何んでも揃う…
丸丹家具店
植田町本町通電二〇一　工場　電二五七

信頼出來る商品　それは外観だけでは分りません
㊕会員の店
三十年の経験ある専門店でお選び下さい
平市中央通り　電三九九
岡萬年筆店

經理・税務・會計監査
お気軽に御相談下さい　懇切に指導研究致します
公認會計士　高橋義
平駅前三延ビル三階電一〇一七

特製　シューマイ
美味　ワンタン
☆何時でも喰べられうまくて安い
さかえ食堂
平駅前　電988

耳鼻咽喉科
高柳醫院
高柳博明
平驛前　電一一二

ミシン
パインミシン
シンガーミシン
福助　芝浦　日産
一流ミシン取扱
☆チケットご利用下さい
工場　植田町北台町電[illegible]
営業所　植田町本町電呼[illegible]
飯塚ミシン商會